



鈴鹿市議会議員（日本共産党）
発行 2017年 10月 1日 261号
森川ヤスエの市政だより
鈴鹿市矢橋 3-10-34 電話：384-3740,
fax:384-2907
URL: <http://blog.ymorikawa.net/>



市民へ負担増で基金積み増しは避けて！

保険税は値上げしすぎた？

国保税一七%の値上げを行った国保会計の決算を見ると三億二千万円の黒字であり、さらに基金残高は約五億七千五百万円です。赤字の穴埋めは市民へ負担を求め、さら

に県からの借入金の返済分も市民負担に上乗せしての一七%の大幅値上げでした。決算を終えてみると県からの借入金はほぼ全額返済できる基金の状況は保険税を値上げしすぎたと言えます。

生活実態の厳しさは好転していない

加入世帯の割合を前年度と比較して見ると加入者の社会保険への移行による減少で高齢化率が高まる構成になっていきます。厳しさが予測されます。保険

証の資格者証や短期証発行数もほぼ横ばいで、加入者世帯の生活実態の厳しさは好転していないことがうかがえます。

国保への一般会計繰り入れは必須。

赤字への対応を一般会計からの繰り入れをせざる、市民への負担増で「足りなければ値上げ」という構図では今後市民生活が負担増にとっても耐えられない。一般会計からの繰り入れは必要です。

九月議会一般質問では、この差を考えて急激な値上げの負担を軽減するために四日市市さんは四段階に分け津市さんは二段階に分けるなど自治体の努力が見られます。（上記表を参照）

九月議会一般質問では、この差を考えて急激な値上げの負担を軽減するために四日市市さんは四段階に分け津市さんは二段階に分けるなど自治体の努力が見られます。（上記表を参照）

九月議会一般質問では、この差を考えて急激な値上げの負担を軽減するために四日市市さんは四段階に分け津市さんは二段階に分けるなど自治体の努力が見られます。（上記表を参照）

鈴鹿市の場合	四日市市の場合	津市の場合
階層区分 C2	所得割課税	
推定年収 360万円以上 680万円未満	77,101円以上 110,631円未満	77,101円以上 143,100円以下
	110,631円以上 144,151円未満	
	144,151円以上 177,681円未満	143,101円以上 211,200円以下
	177,681円以上 211,201円未満	

九月議会一般質問では、この差を考えて急激な値上げの負担を軽減するために四日市市さんは四段階に分け津市さんは二段階に分けるなど自治体の努力が見られます。（上記表を参照）

第1子(長男、長女の年齢)	保育料軽減内容	第1子(長男、長女の年齢)	保育料軽減内容
小3~小1	半額	小4以上	満額
第2子	無償	第2子	半額
第3子		第3子	

九月議会一般質問では、この差を考えて急激な値上げの負担を軽減するために四日市市さんは四段階に分け津市さんは二段階に分けるなど自治体の努力が見られます。（上記表を参照）

決算審議からの報告

政治家の立ち位置が試された決算。

国保税の一七%値上げやのバス運賃を二倍に値上げという市民への大幅な負担増を求めた決算であり、その反面特別職が自らの報酬の引き上げを行ったということが特徴。日本共産党は条例改定についても議員分も含めて議案を提出するべきではないとの立場から反対し、予算計

上にも反対してきた。

報酬引き上げと市民の負担増という対比は報酬額の大小ではなく、政治をつかさどる立場の立ち位置が評価される問題だということを認識していたかどうかを求めました。

仕事を先送りした貯金は妥当か？

二八年度決算は、基金繰り入れ予定の二〇億円は税収増などで、繰り入れずに済んだ決算で、なお

かつ実質収支も六億円を超え新たに四億

円を基金に積み立てました。黒字は歓迎することではありませんが、やらなければならぬ事業を先送りするとそれだけ後年度への負担を重くし、鈴鹿市の均衡ある発展を妨げることになると考えます。この決算を見ると、最近議場でもたびたび議論となっている老朽化した学校のトイレの改修なども含

めて税収増の一部を

充てることで、積み残した事業へ手を伸ばすという発想が必ずではなかったのか、今後の財政運営のあり方についての検討を求めました。

1	質疑、質問原稿作り及び調査活動	16	敬老記念品届活動他
2	同上	17	休み
3	映画「標的の島」鑑賞他	18	ニュース配布活動、三宅裕一郎先生、「私たちの憲法」講演会参加他
4	生活相談、打ち合わせ	19	街頭宣伝活動、ニュース配布活動
5	一般質問原稿作り他	20	神戸中学校体育祭出席、ニュース配布活動
6	6.9行動、他	21	スタンディング、ニュース配布活動
7	本会議（質疑）	22	ニュース配布活動、民商共済会総会出席
8	本会議	23	ドキュメンタリー「ザ思いやり」鑑賞、ニュース配布活動
9	会議、後援会2017年度女性のつどい参加他	24	街頭宣伝活動、会議
10	会議他	25	予算・決算委員会出席
11	CTL本会議、(森川質問日)赤旗宣伝活動	26	被爆者署名活動・平和の波行動参加、他
12	本会議	27	会議他
13	本会議	28	本会議閉会
14	会議	29	就労マルシェ見学、他
15	地域福祉委員会出席、	30	神戸小学校運動会出席、ポスター掲示活動

日本共産党は、1922年設立、95年になります。侵略戦争に反対をつらぬいた唯一の政党。そして天皇絶対の世の中で、堂々と国民主権をかかげた。こうした主張のために「治安維持法」で大弾圧をうけることになった。